



投資金額  
×  
目標収入別  
シミュレーション  
付き!



# How to Get a Dividend Rich

配当金生活に近づく

3つの米国株

# プロローグ：老後2000万円問題に潜む罠

2019年、金融庁の審議会が発表したことで話題となった「老後2,000万円問題」。

その根拠は

- ・高齢夫婦無職世帯の収入から支出を引くと、毎月約 5.5 万円が不足してしまう
- ・つまり、老後が 20 年続くなら約1,300 万円、30 年なら約2,000万円が足りない
- ・なので、2000 万円は蓄えておかなければならない

というものです。

これをきっかけに資産形成への関心が一気に高まりました。その一方、あくまでも2017年の家計調査を参考にした数字であり、「実際にはそんなに必要ない」「いや、年金が減っているし、インフレも進んでいるからもっと必要だ」など様々な意見もあります。

実際、「老後2,000万円問題」は「老後55万円問題」となり解決してしまった、という意見もあります。当時とは家計調査の結果が異なり、収入と支出のバランスが変わってきたからです。この表をご覧ください。

	収入	支出	差額 (月間)	不足額 (30年)
2017年	20.9万円	26.3万円	-5.5万円	-1963万円
2018年	22.3万円	26.5万円	-4.2万円	-1507万円
2019年	23.8万円	27.1万円	-3.3万円	-1198万円
2020年	25.8万円	25.9万円	-0.2万円	-55万円

※ 総務省「家計調査報告」よりプレジデント社作成

2020年に至っては、55万円しか不足しない計算になります。だから「老後2000万円問題」によっては「老後55万円問題」にもなりうるのです。しかももちろん、2020年はコロナ禍という特殊事情(外出が減って消費が減った、特別給付があった…など)があり、この数字だけで安心することはできないでしょう。

他にも、2022年は日本でもインフレが話題になり、年間12万円の負担増という試算もあります。つまり、インフレによって年間支出が12万円、一方、年金支給額は変わっていない(厳密には0.4%減った)ため、30年間で360万円の不足が生まれてしまうということです。

結局何が言いたいのかというと、

**「こんないい加減な指標で、失敗できない老後を計画する訳にはいかない」ということです。**

(もちろん「2000万円」などの具体的な数字を目標に資産形成に励むことは良いことです)

30年後の年金支給額や物価を正確に予測できるひとはいません。なにより老後を30年と見積もっていますが、本当に30年かどうか分かりません。数年前にはすでに当時55~60歳男性の2人に1人が90歳超、女性の半数が100歳近くまで生きると言われていましたから、あなたの老後は30年ではなく、40年、50年かもしれませぬ。

つまり、老後に2000万円あれば十分なのか、55万円でも十分なのか、いや3000万円、4000万円ないと厳しいのかは、誰にもわからないということです。

このレポートでは、あなたの老後に本当に必要なものをお伝えします。それは貯金額ではありません。たとえばあなたの支出がいくらだろうと、何歳まで生きようと、問題にならない「一つの公式」と、その公式をあなたの実生活に落とし込むための「具体的な投資方法と銘柄名」です。

---

- 目次 -

第1章：あなたの老後に必要な "たった1つの公式" .....	3
第2章：日本人が知らないダブル複利 .....	5
第3章：厳選配当王3銘柄 .....	8
第4章：あなたの老後に必要な収入の作り方 .....	12

# 第1章 あなたの老後に必要な"たった1つの公式"

冒頭で老後2000万円問題に潜む罠を紹介しました。

その罠とは、結局あなたの老後に必要な"金額"は「わからない」ということ。もらえる年金額、支出額(物価)、家の修繕が必要になるか、大きな病気にかからないか、そして何歳まで生きるのか、どれも厳密に知ることはできません。まして、老後2000万円問題の元になった「家計調査報告」のような平均データからは、何も分かりません。(繰り返しますが、資産形成への関心を高めることに一役買いましたし、具体的なわかりやすい目標を提示してくれたという点では意味のある数字ではありません)。

さらに、あまり論じられない非常に大きなもう一つの罠があります。

それは「いくらお金を貯めればいいのか?」という間違っただけの発想に囚われてしまうことです。

当然ですが、いくらあってもお金は使えばなくなります。もしあなたが自分の家計を分析し、将来の物価見通しや怪我や病気のリスクまでも考慮し、完璧な老後計画を立てたとします。そしてその結果、必要な貯蓄を見事準備することができたとして。

素晴らしいことに思えるかもしれませんが、**あなたは人生の最後の数十年をお金が減っていく恐怖、つまり「いつか足りなくなるんじゃないか?」という不安とともに生きることになります。**自分が思っていたよりも長く生きる。本来喜ばしいことである長生きも、恐怖の対象になってしまうということ。

どれだけお金があったとしても、長生きするほど預金通帳の数字が0円に近づいていく恐怖からはどうしても逃れることはできません。ではどうすればいいのか? 使いきれないほどのお金を貯める? それは多くの人にとって現実的ではありません。

この問題には、言われてしまえば当たり前の、シンプルな答えがあります。それが…

## 毎月の支出 < 自動的に入ってくる収入

この状態を作ることです。お金を使っても、使った分だけ新たに入ってきます。食費、光熱費、医療費に娯楽費。毎月使った分だけ入ってくる流れを作っておけば、お金が減っていく恐怖から逃れることができます。

月20万円使いたいなら、毎月、20万円以上が自動的に入ってくる状態

月30万円使いたいなら、毎月、30万円以上が自動的に入ってくる状態

月50万円使いたいなら、毎月、50万円以上が自動的に入ってくる状態

この状態であれば、何歳まで生きてもお金がなくなる心配からは逃れられます。何年生きても、毎月使いたい金額をしっかりと使っても、お金が減らないからです。

さらに嬉しいことに、その全額を自分で用意する必要はありません。なぜならあなたには年金があるからです。支給額の減少が続いているものの、少なくとも制度上、年金はあなたが生きている限り支払われ続ける不労所得と言えます。

年金と合わせて生活費以上の収入が自動的に入ってくる状況を作ることができれば、現実的なお金の不安は無くなってしまおうでしょう。

どうすればそんなことが可能なのか？

様々な方法があります。有名な話ですが、マイケルジャクソンは死後も毎年数百億円を稼ぎ続けています。当然ですが彼はもう何年も働いていません。それらは著作権収入などの不労収入です。とはいえ、マイケルジャクソンと同じ方法で働かずに収入を得続けるのは、あなたも含め多くの人にとって現実的ではないでしょう。

働かずに収入を得ることなんて可能なのか？ 多くの人がそう考えます。

そこで、私たちが「多くの人にとって現実的な方法」と考え、これからあなたにお伝えするのが**配当収入**です。

私たちは配当金を、究極の不労所得と考えています。配当金を出す株であれば、「ただ株を買うだけ」で、配当金を受け取る資格を得ることができます。配当金を受け取るために必要なのは本当にこれだけです。配当支払日になれば証券口座に自動で振り込まれます。特定口座を使えば、税金の申告さえ不要です(詳細は税理士など税金の専門家に確認してください)。

例えば、もしあなたが毎月5万円、年金とは別の不労所得が必要だとします。

**配当利回り3%の株に2000万円投資すれば、年間でもらえる配当金は60万円。1ヶ月当たり5万円の不労所得になります**(税金は考慮していません)。

ちょうど「老後2000万円問題」と似た数字が出てきたので、ここでもう一度考えてみてください。

老後2000万円問題は、毎月5万円ほど不足するから年金生活に入る前に2000万円貯めておこう、というものです。そして今紹介した配当による不労所得は、不足する月5万円を、2000万円の投資から得られる配当収入で補おう、というものです。

どちらも2000万円必要だし、鍵となってくるのは毎月5万円です。であれば結果は似たようなものに思えるかもしれません。しかしここには、大きすぎる違いがあります。

貯めた2000万円を月5万円ずつ使い続ける老後  
VS  
2000万円分の株から月5万円の収入が入り続ける老後

あなたはどちらの老後を選択するのでしょうか？ 前者はお金が減り続ける恐怖と戦い続ける必要がある上、想定より少し長生きしてしまったら悲惨なことになります。その上、もし病気や事故など不測の事態で例えば100万円必要になったら？ 残念ですが、自分の老後が想定より短いことを祈るしかありません。

一方、後者は月5万円の収入が入り続けているため、お金が減る心配とは無縁です。もちろん株価は移り変わるので多少2000万円からは上下しますが、変わらない株数のまま残り続けるからです。想定より長生きしてしまったら？ 問題ありません。月5万円の収入はあなたの寿命と関係なく入り続けます。もし不測の事態で100万円必要になったら？ 少しでも株を売却しないとイケないかもしれませんが、それでも、1900万円分の株式と月4.75万円の不労所得が残っています。十分やっていけるでしょう。

## 第2章 日本人が知らないダブル複利

ここまで配当収入という不労所得が、「毎月の支出 < 自動的に入ってくる収入」という状況を作り、お金の不安から解放される方法だとお伝えしてきました。そして、具体的に毎月5万円の配当収入を作るために、2000万円を配当利回り3%の株に投資すればいい、ということもお伝えしました。

しかし実は、月5万円の配当収入を作るために、2000万円も必要ありません。ある方法を使えば、必要な資金を半分以下にすることも狙えます。これからその秘密をお伝えします。

資産形成に関心があるあなたなら、複利については十分理解されているでしょう。利息にも利息がつき、雪だるま式に資産が増えていく、資産形成において最も強力なパワーです。

配当利回り3%の株に投資するという話をしましたが、**しばらくは配当を使わず、再投資して複利の力を使えばどうなるのでしょうか？**

簡単なシミュレーションをしてみましょう。いずれも株価変動はなしとした場合のシミュレーションです。例えば、先ほど言った通り2000万円を配当利回り3%の株で運用すると、年間60万円の収入が得られますが…

下の表を見てください。もらった配当を次の年の投資額に組み入れる配当の再投資をすることで、1500万円の投資で10年目に年間60.4万円の配当収入を達成できます。初期投資が500万円も少なくなり、2000万円も必要ないことが分かりました。もっと長い時間を投資に当てることができる人は、もっと少ない投資額でも可能でしょう。

配当再投資シミュレーション

	投資額	配当利回り	配当額
0年後	1,500.0万円	3.00%	45.0万円
1年後	1,545.0万円	3.00%	46.3万円
2年後	1,591.3万円	3.00%	47.7万円
3年後	1,639.0万円	3.00%	49.1万円
4年後	1,688.1万円	3.00%	50.6万円
5年後	1,738.7万円	3.00%	52.2万円
6年後	1,790.9万円	3.00%	53.7万円
7年後	1,844.6万円	3.00%	55.3万円
8年後	1,899.9万円	3.00%	57.0万円
9年後	1,956.9万円	3.00%	58.7万円
10年後	2,015.6万円	3.00%	60.4万円

逆に老後まで時間がないという人もいるでしょう。投資額が少なくなるのは嬉しいが、10年もかかってしまうのか…と感じたかもしれません。安全に資産を増やそうと思うと、時間がかかるものだから仕方ない、と諦める人も多いでしょう。ですが、多くの人が見逃すもう一つの複利の力があります。

**それは、配当そのものの複利成長です。配当の再投資による複利に加えて、配当そのものの複利成長の力を足してみましよう。**

下の表の通り、先ほどの条件に5%の増配を加えます。配当利回りが1年後には3.15%、2年後には3.31%…と毎年5%ずつ大きくなる計算です。この場合、1500万円の投資ならたった4年目に年間配当額62.1万円を達成します。期間を半分以下にまで短縮できることになります！

配当再投資+増配(年5%)シミュレーション

	投資額	配当利回り	配当額
0年後	1,500.0万円	3.00%	45.0万円
1年後	1,545.0万円	3.15%	48.6万円
2年後	1,593.6万円	3.31%	52.7万円
3年後	1,646.3万円	3.47%	57.1万円
4年後	1,703.4万円	3.65%	62.1万円

そして、お気づきでしょうか？ この章の初めには「資金を半分以下にすることも可能」と言いました。もしあなたが10年間を投資に当てることができるなら、ダブル複利を使うことで、900万円の投資で年間配当62.6万円を達成することも狙えます。それがこの表です。

配当再投資+増配(年5%)シミュレーション

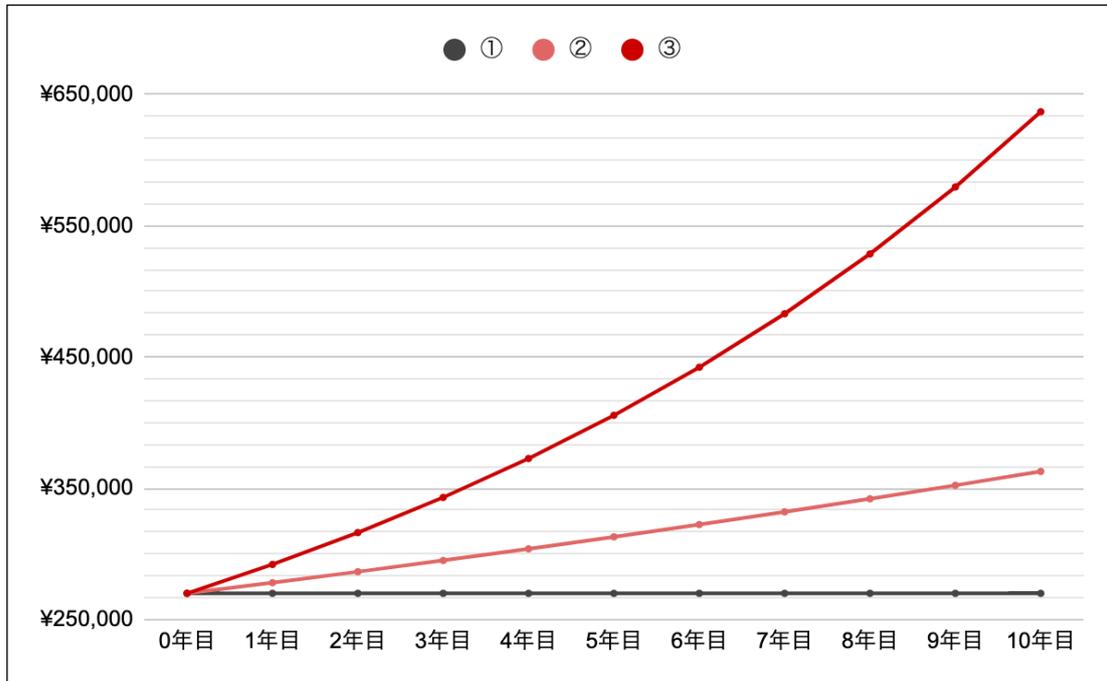
	投資額	配当利回り	配当額
0年後	900.0万円	3.00%	27.0万円
1年後	927.0万円	3.15%	29.2万円
2年後	956.2万円	3.31%	31.6万円
3年後	987.8万円	3.47%	34.3万円
4年後	1,022.1万円	3.65%	37.2万円
5年後	1,059.3万円	3.83%	40.5万円
6年後	1,099.8万円	4.02%	44.2万円
7年後	1,144.0万円	4.22%	48.3万円
8年後	1,192.3万円	4.43%	52.8万円
9年後	1,245.1万円	4.65%	57.9万円
10年後	1,303.0万円	4.89%	63.6万円

つまりあなたがまだ55歳で、定年退職するまでに収入があればいいという人なら、2000万円の半分以下である900万円で月5万円の配当収入を作ることができるということです！

このシミュレーションで

- ① 複利の力を使わない場合
- ② 配当再投資をした場合
- ③ 配当再投資をして、配当の複利成長の力も足した場合（ダブル複利）

の配当額の伸びの違いを下のグラフに示しました。ダブル複利の強さが分かります。



これがダブル複利の力。

- ・老後まで時間がないという人は「1500万円を元手に4年で月5万の配当収入を作る」
- ・投資に大金はかけられないという人は「900万円を元手に10年で月5万円の配当収入を作る」

というライフプランの目安が立てられることが分かりました。

あくまでこれらはシミュレーションであり税金は考慮していませんが…

これから紹介する配当王3銘柄の平均配当利回りは4.31%、平均増配率(直近10年間平均)は8.81%なので(2022/12/09時点) このシミュレーション以上に良い数字が出る可能性があります。

じゃあ実際にこのダブル複利を資産形成に取り入れるにはどうしたら良いのか？ 決して難しいものではなく、驚くほどシンプルです。その具体的な3ステップがこちらです。

1. 株を購入する
2. 配当が口座に入金されたら、再投資して株を買い増す
3. 売らない (配当を貰う権利を失ってしまわないように)

この方法では、投資している期間をできる限り長くするほど、年々富が増えていくことを狙えます。つまり、始めるのが早ければ早いほど恩恵を受けることができるということです。ぜひ今日から、あなたも始めてみてください。

とは言っても、どんなところに投資したら良いのか？ 当然そんな疑問が生まれるでしょう。このダブル複利は増配が肝なので、しっかり配当を成長させている投資先を選ぶ必要があります。

安心してください。次の章で、このダブル複利効果を得られる可能性があるおすすめ配当成長銘柄を3つ紹介します。

## 第3章 厳選配当王3銘柄

楽しみにしていた方も多いでしょう。これから具体的な3つの投資先を紹介します。

ところで配当王という言葉聞いたことがありますか？ 配当王とは、配当金を50年以上連続で増やし続けている、連続増配株の中でも最高ランクの銘柄を指します。

2002年のITバブル崩壊や2007年のリーマンショック、2020年のコロナショックなど、米国の歴史的な大不況でも減配することなく、安定的な業績を継続してきた実績のある老舗企業の銘柄です。世界で38銘柄しか存在せず残念ながら日本株には存在しません。全て米国株です。

その38銘柄の中から今後もさらに成長し、配当を増やし続けていくだろうと考えられる3銘柄を厳選しました。

それがこちらです。（データは全て2022/12/09時点のものです）



配当王 #1

# ターゲット・コーポレーション (TGT)

銘柄名	ターゲット・コーポレーション
シンボル	TGT
時価総額	707億ドル
配当利回り	2.58%
1株当たりの配当金	3.96ドル
連続増配年数	55年
直近10年間の平均増配率	11.90%/年
2022年の配当月	3月、6月、9月、12月
投資先情報	ターゲットは、米国最大級の小売店、食料品店、家庭用品店の一つであり、日用品を格安で販売している。1902年に設立され、2021年には約990億ドルの収益を上げている。
配当金を再投資した場合の20年間のリターン	598.48%
配当金を再投資しない場合の20年間リターン	463.80%

## TGT

開始日:	12/11/2002
終了日:	12/07/2022
開始金額/一株:	\$32.87
終了金額/一株:	\$153.76
開始時の株数:	304.23
終了時の株数:	454.26
配当金の再投資/一株:	\$31.56
トータルリターン:	598.48%
年間平均リターン:	10.21%
開始投資額:	\$10,000.00
終了投資額:	\$69,909.42
投資期間:	20.00

## 配当金を再投資した場合の 1万ドル成長率



## TGT

開始日:	12/11/2002
終了日:	12/07/2022
開始金額/一株:	\$32.87
終了金額/一株:	\$153.76
配当金の再投資/一株:	\$31.56
トータルリターン:	463.80%
年間平均リターン:	9.03%
開始投資額:	\$10,000.00
終了投資額:	\$56,366.76
投資期間:	20.00

## 配当金を再投資しない場合の 1万ドル成長率





配当王 #2

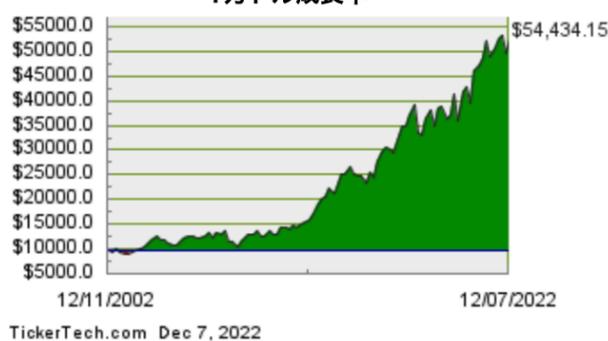
# ジョンソン・エンド・ジョンソン (JNJ)

銘柄名	ジョンソン・エンド・ジョンソン
シンボル	JNJ
時価総額	4,632億ドル
配当利回り	2.51%
1株当たりの配当金	4.45ドル
連続増配年数	60年
直近10年間の平均増配率	6.73%/年
2022年の配当月	3月、6月、9月、12月
投資先情報	ジョンソン・エンド・ジョンソンは世界最大の老舗ヘルスケア企業だ。1886年に設立され、2021年は約891億ドルの収益を上げている。包帯などの製品を提供する世界最大級のパーソナルケアプロバイダーでもある。
配当金を再投資した場合の20年間のリターン	443.87%
配当金を再投資しない場合の20年間リターン	307.17%

## JNJ

開始日:	12/11/2002
終了日:	12/07/2022
開始金額/一株:	\$56.17
終了金額/一株:	\$177.17
開始時の株数:	178.03
終了時の株数:	306.98
配当金の再投資/一株:	\$51.54
トータルリターン:	443.87%
年間平均リターン:	8.84%
開始投資額:	\$10,000.00
終了投資額:	\$54,434.15
投資期間:	20.00

### 配当金を再投資した場合の 1万ドル成長率



## JNJ

開始日:	12/11/2002
終了日:	12/07/2022
開始金額/一株:	\$56.17
終了金額/一株:	\$177.17
配当金の再投資/一株:	\$51.54
トータルリターン:	307.17%
年間平均リターン:	7.27%
開始投資額:	\$10,000.00
終了投資額:	\$40,705.13
投資期間:	20.00

### 配当金を再投資しない場合の 1万ドル成長率





配当王 #3

# アルトリア・グループ (MO)

銘柄名	アルトリア・グループ
シンボル	MO
時価総額	831億ドル
配当利回り	7.85%
1株当たりの配当金	3.64ドル
連続増配年数	53年
直近10年間の平均増配率	8.16%/年
2022年の配当月	1月、4月、7月、10月
投資先情報	アルトリアは何十年も前からタバコや無煙タバコの生産・製造・販売を行っている世界最大級の老舗企業である。最もよく知られているブランドはマルボロで、米国での紙巻きたばこ市場では43.3%のトップシェアを占めている。
配当金を再投資した場合の20年間のリターン	1,401.95%
配当金を再投資しない場合の20年間リターン	313.84%

## MO

開始日:	12/11/2002
終了日:	12/07/2022
開始金額/一株:	\$40.83
終了金額/一株:	\$46.37
開始時の株数:	244.92
終了時の株数:	3,239.07
配当金の再投資/一株:	\$122.60
トータルリターン:	1,401.95%
年間平均リターン:	14.51%
開始投資額:	\$10,000.00
終了投資額:	\$150,324.41
投資期間:	20.00

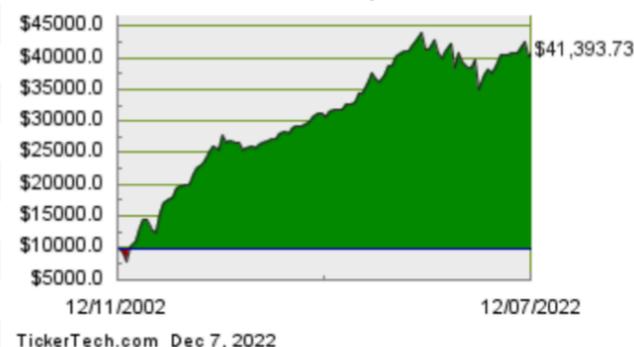
## 配当金を再投資した場合の 1万ドル成長率



## MO

開始日:	12/11/2002
終了日:	12/07/2022
開始金額/一株:	\$40.83
終了金額/一株:	\$46.37
配当金の再投資/一株:	\$122.60
トータルリターン:	313.84%
年間平均リターン:	7.36%
開始投資額:	\$10,000.00
終了投資額:	\$41,393.73
投資期間:	20.00

## 配当金を再投資しない場合の 1万ドル成長率



この3銘柄の配当利回りは平均すると4.31%、また直近10年間平均増配率の3銘柄の平均は8.81%です。未来のことは分かりませんが、少なくとも過去と現在を見る限り、仮にこの3銘柄に33万円ずつの約100万円を投資したら

- ・1年間で4万2702円の配当金がもらえ、
- ・次の年には4万6357円の配当金がもらえるかもしれない

ということです。（効果を保証するものではありません。また税金は考慮していません）

もしかしたらあなたはもう豊かな老後を手に入れるには十分な情報を手にいれたと感じているかもしれませんが。しかし、これで終わりではありません。

この第2章から第3章にかけて目指してきた数字は月5万円。月5万円の収入は確かに老後2000万円を解決し、老後の不安を和らげてくれるものでしょう。

ですが、月5万円だとあくまで年金収入の補助にしかならないのではないのでしょうか。毎月の収入を全て補うのに十分な収入には遠いです。時々旅行に行ったり、美味しいものを食べたり、老後の自由を存分に楽しむには、少し足りないかもしれません。

ここまで読んでくれたあなたにぜひお伝えしたい秘密をもう1つだけ書きました。ここまで紹介してきた強力な武器と最後に紹介する秘密を全て組み合わせることで、老後に十分な配当収入を作ることは現実的になります。

## ダブル複利 + 配当王3銘柄 + ???

次の章で、紹介した3銘柄の具体的な数字を使いながら、あなたの老後に必要な収入の作り方を見ていきましょう。つまり月に20万円、50万円の収入を作り、老後不安を解消するだけでなく、自由な老後を手に入れることを狙います。

# 第4章 あなたの老後に必要な収入の作り方

あなたはすでにダブル複利の力を知り、長期投資に適すると考えられる具体的な3銘柄の情報を手に入れました。あとはこの銘柄にどう投資していくか、ということだけです。

**ここでもう一つの秘密が登場します。積立投資です。**

知っていると思いますが、積立投資は毎月毎月決まった額を積み立てていくことで元本を増やしていく投資方法です。もっと特別な方法を期待していたかもしれませんが。しかしこの積立投資の効果は馬鹿にできません。ダブル複利の考え方、そして今回紹介した具体的な3銘柄は、積立投資と非常に相性がいいからです。具体的にどうなるのか見てみましょう。

Dividend Calculator (<https://www.marketbeat.com/dividends/calculator/>) というツールがあります。これは投資資金や利回りなどから、資産額や配当収入がどうなるかをシミュレーションするものです。このツールを使って、配当王3銘柄の実際の数字をもとにシミュレーションしていきます。まずは次のケースで見てください。

投資するのは配当王厳選3銘柄。配当利回り4.32%、平均増配率は8.81%です。ちなみにこの3銘柄の平均株価は現在130ドルほどです。今回は配当収入のみに注目するので、株価変動は考慮しません。また一律1ドル=130円とします。

そしてあなたの手元に50万円の投資資金があり、毎年50万円の積立投資が可能だとします。

1つずつ入力していきましょう。あなたも興味があれば一緒に試してみてください。

- ・ Investment Type (投資種類) : 「Individual Stock (個別株)」を選択します。
- ・ Distribution Frequency (分配頻度) : 「Annually (1年毎)」でやってみましょう。
- ・ DRIP (配当再投資) : 「Yes」を選択します。ダブル複利のうちの1つですね!
- ・ Number of Shares (株式数) : 手元に50万円があるので、「29」を入力します。
- ・ Share Price (株価) : 配当王3銘柄の平均株価「\$130」を入力。
- ・ Annual Contribution (年間投資額) : 毎年50万円の積立投資なので「\$3846」を入力。
- ・ Initial Annual Dividend Yield (最初の年間配当利回り) : 「4.31%」でスタート
- ・ Expected Annual Dividend Amount Increase (予想年間増配率) : 「8.81%」ダブル複利の2つ目です。

Dividend Tax Rate (配当税率)、Tax-Exempt Dividend Income Allowed Per Year (年間に認められる免税額) はゼロ、Expected Annual Share Price Appreciation (予想年間株価上昇率) も、今回は配当収入にフォーカスするのでゼロでやってみましょう。

Years Invested (投資年数) を「20」にして計算してみます。

## Dividend Calculator

Use MarketBeat's free dividend calculator to learn how much income your dividend stock portfolio will generate over time. Incorporate key calculations, such as dividend yield, taxes, dividend growth, distribution frequency, dividend growth, and time horizon to accurately understand your dividend investment portfolio's future income power. Plus leverage other [dividend tools from MarketBeat](#) to identify the safest and highest-yield dividend stocks. [Learn more.](#)

Choose a Stock to Populate Dividend Data (optional): [Clear selection.](#)

Investment Type:	Number of Shares:	Initial Annual Dividend Yield:
Individual Stock	29	4.31 %
Distribution Frequency:	Share Price:	Expected Annual Dividend Amount Increase % (per year):
Annually	\$ 130	8.81 %
DRIP:	Annual Contribution:	Expected Annual Share Price Appreciation % (per year):
Yes	\$ 3846	0 %
	Dividend Tax Rate:	Years Invested:
	0 %	20
	Tax-Exempt Dividend Income Allowed Per Year:	
	0	

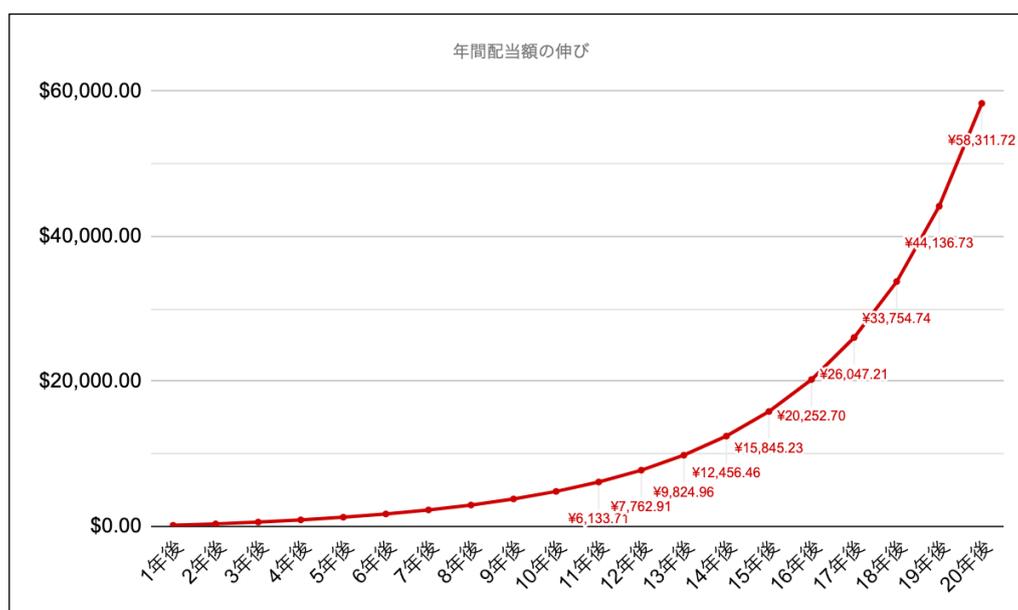


このような結果が出てきます。

Annual Dividend（年間配当）があなたが手に入れる年間の配当収入を示します。10年目で年間配当が62.8万円、つまり月5万円分の収入を達成することができます。元手となっているのは550万円です。

Your Dividends Each Year									
Year	Shares Owned	Annual Dividend Per Share	Annual Dividend	Compound Frequency	After DRIP Value	Annual Contribution	Year End Shares Owned	Year End Stock Price	New Balance
1	29.00	\$5.60	\$162.49	annually	\$3,932.49	\$3,846.00	59.83	\$130.00	\$7,778.49
2	59.83	\$6.10	\$364.79	annually	\$8,143.28	\$3,846.00	92.23	\$130.00	\$11,989.28
3	92.23	\$6.63	\$611.80	annually	\$12,601.07	\$3,846.00	126.52	\$130.00	\$16,447.07
4	126.52	\$7.22	\$913.21	annually	\$17,360.29	\$3,846.00	163.13	\$130.00	\$21,206.29
5	163.13	\$7.85	\$1,281.20	annually	\$22,487.49	\$3,846.00	202.57	\$130.00	\$26,333.49
6	202.57	\$8.55	\$1,731.13	annually	\$28,064.62	\$3,846.00	245.47	\$130.00	\$31,910.62
7	245.47	\$9.30	\$2,282.58	annually	\$34,193.19	\$3,846.00	292.61	\$130.00	\$38,039.19
8	292.61	\$10.12	\$2,960.67	annually	\$40,999.87	\$3,846.00	344.97	\$130.00	\$44,845.87
9	344.97	\$11.01	\$3,797.96	annually	\$48,643.82	\$3,846.00	403.77	\$130.00	\$52,489.82
10	403.77	\$11.98	\$4,836.95	annually	\$57,326.77	\$3,846.00	470.56	\$130.00	\$61,172.77
11	470.56	\$13.03	\$6,133.71	annually	\$67,306.49	\$3,846.00	547.33	\$130.00	\$71,152.49
12	547.33	\$14.18	\$7,762.91	annually	\$78,915.39	\$3,846.00	636.63	\$130.00	\$82,761.39
13	636.63	\$15.43	\$9,824.96	annually	\$92,586.35	\$3,846.00	741.79	\$130.00	\$96,432.35
14	741.79	\$16.79	\$12,456.46	annually	\$108,888.81	\$3,846.00	867.19	\$130.00	\$112,734.81
15	867.19	\$18.27	\$15,845.23	annually	\$128,580.05	\$3,846.00	1018.66	\$130.00	\$132,426.05
16	1018.66	\$19.88	\$20,252.70	annually	\$152,678.74	\$3,846.00	1204.04	\$130.00	\$156,524.74
17	1204.04	\$21.63	\$26,047.21	annually	\$182,571.95	\$3,846.00	1433.98	\$130.00	\$186,417.95
18	1433.98	\$23.54	\$33,754.74	annually	\$220,172.69	\$3,846.00	1723.22	\$130.00	\$224,018.69
19	1723.22	\$25.61	\$44,136.73	annually	\$268,155.42	\$3,846.00	2092.32	\$130.00	\$272,001.42
20	2092.32	\$27.87	\$58,311.72	annually	\$330,313.14	\$3,846.00	2570.45	\$130.00	\$334,159.14

下のグラフで配当収入額が年々どのように伸びていくかを示しました。15年を超えるぐらいから、配当額が倍々ゲームのように伸びていることが分かります。



これまでのシミュレーションを振り返ってみましょう。

第1章では2000万円あれば年3%の配当利回りで月5万円の収入を作ることができるとお伝えし、さらに第2章ではダブル複利という強力な力によって、10年かければその半分以下の900万円で月5万円の収入を作ることができるお伝えしました。

そして第3章・第4章の配当王3銘柄と積立投資があれば…

- ・ さらに少ない550万円で10年後に月5万円の収入を作ることができる
- ・ 13年かければ月10万円の収入になる
- ・ さらに16年後には月20万円の収入を超える

仮にあなたが今50歳だったとして、定年退職して66歳になる頃には配当収入だけで月21.9万円、70歳ではなんと月63.1万円の収入です。例え年金がなくても、優雅な老後を過ごすのに十分な金額だと思います。(効果を保証するものではありません)

あなたが自由で豊かな老後を送るための具体的な道筋が見えてきたのではないのでしょうか？

あなたが送りたい老後に合わせて、ダブル複利・配当王3銘柄・積立投資の3つの強力な武器を使った投資プランをぜひ立ててみてください。下の表で、元手や毎年の投資額によって、月5万円・10万円・20万円・50万円の配当収入を作るのに何年かかるのか、いろいろなパターンを作ってみました。(1ドル=130円換算)

元手	年間投資額	月5万円	月10万円	月20万円	月50万円
0万円	50万円	11年	14年	17年	20年
	100万円	8年	11年	13年	17年
	200万円	6年	8年	11年	14年
100万円	50万円	10年	13年	16年	19年
	100万円	8年	10年	13年	17年
	200万円	6年	8年	11年	14年
300万円	50万円	8年	11年	14年	18年
	100万円	6年	9年	12年	16年
	200万円	5年	7年	10年	14年
500万円	50万円	6年	10年	13年	17年
	100万円	5年	8年	12年	16年
	200万円	4年	7年	10年	13年
1000万円	50万円	3年	7年	11年	15年
	100万円	3年	6年	10年	14年
	200万円	3年	5年	8年	13年

# エンディング:あなたの配当収入、その次のステップ

いかがでしたか？

あなたの漠然とした老後の不安やその解決法がかなりクリアになったのではないのでしょうか。

お伝えしてきたのは、  
配当収入で老後の不安を解決する方法でした。

もしかしたらここまで真剣に読んでくださった  
金融リテラシーの高いあなたは、  
こんな懸念があるかもしれません。

- ✓ 株価を常にチェックするのが大変そうで始めるのに抵抗感がある…
- ✓ 投資は分散が大事だというけれど、この3銘柄への分散で本当に十分なのだろうか？
- ✓ もしこの3銘柄が配当を減らしたり、やめてしまったりしたら困るんじゃないか？

このレポートで紹介した方法は、  
配当を重視した少額ずつの積立投資なので、  
リスクは比較的安く安全だと考えていますが、  
投資に絶対はありません。  
このような懸念は持って当然だと思います。

これらの懸念を解消したい人は  
このページを見てみてください。  
あなたがワンランク上の投資家になるためのヒントがあります。

クリックして  
ワンランク上の  
投資家になるための  
次のステップへ